

どんな子みっけ？

運動会では、たくさんの応援、そしてご協力をありがとうございました。おたより帳のお返事を読ませていただくと、お子さんの活躍に期待を寄せていたり、子どもたちと同じように運動会に向けて意気込んでくださっていたことが感じられるお手紙がたくさんありました。

年少組は、初めての行事に対しての緊張や不安が強くあるもので、運動会でも毎年、泣いてしまう子や、お母さんから離れられない子もいます。逆に、はしゃいで落ち着かない子もいるのが当たり前です。運動会会場の穴川中央公園にでかけて踊る体験や、お客さんに見られる機会を多く作ったりしますが、それでも当日は、「ママー」と泣きべそをかいたり、はしゃいで落ち着かなかった子もいました。しかし、「よーいどん！」の笛の合図が鳴ると気持ちを切り替えて、先生の所まで一直線に走って行くことができたり、ダンスの曲が聞こえてくると、無邪気に踊り出したたりできたのは、日頃から、友だちや先生と一緒に、楽しさを共有してきたからこそその姿です。

年中組の目玉はパラバルーン！一枚の布をいろいろな形にヘンシンさせるには、友だちとの協力が欠かせません。隣りや正面のお友だちとの力のバランスが取れなければ上手く形が作れませんし、風の抵抗でバルーンが波打

つと、重くなり持って行かれるので、力いっぱい握らなければなりません。

子どもたちが演技していると「わあ〜っ」とか「やったー！」と歓声が聞こえてくるのは、お友だちの力を感じながら自分たちでバルーンを変化させている達成感と一体感を味わっているからだと思います。

年長組は、それぞれの競技や演技に一人ひとりこだわりを持って取り組んでいました。「行進が上手だって先生にほめられた！」と、先生に褒めてもらったことが、その子にとって一番の自信になります。その自信が、それ以外のことも頑張る意欲に繋がります。先生に限らず、「お姉ちゃん頑張ってる」と年少組から応援されることが、喜びやパワーの源になったりもしています。

期待のあまり、“どうして泣いちゃったのかしら？”“〇〇ちゃんは運動神経が良くて大活躍だったわ”“うちの子はどうして・・・”と物足りない気持ちを抱いたお家の方がいらっしゃるかもしれませんが、こうした学年ごとの取り組みの様子を見ると、幼稚園での日々の友だちとの関わりや、楽しい時間の共有、出来ないことが出来るようになる喜びなどが、運動会の活動に繋がっていることが分かります。この姿をしっかりと認めてあげて“僕はこれでいいんだ”と安心して、いろいろなことに挑戦しようとする意欲を大切にあげましょう。

こんな

「こんな」は、ようちえんで起こる
こんなとき・こんなこと・こ～んなにを
折々お届けします。

なんでも試したい



年少組



幼稚園にくると、運動会グッズを装着して、まだまだ楽しんでいる年少組。

最近、いろいろなところで運動会!?!を楽しんでいます。まる子ちゃんのお面やお巡りさん帽子、そして



年長さんのポンポンやガード、リレーのバトンなどの運動会グッズを使っての運動会ごっこが大人気です。

そんな中、パレードの音楽が聞こえてくると、ポンポンを持ち出して踊り出します。すると、踊りはもちろん掛け声やフォーメーションまでしっかり覚えてほぼ完璧にできるのです。思い返してみると、他学年が活動している様子を、ベランダから観ていました。じ〜っと観察していたのですね。

入園したばかりの頃は、自分のことで精一杯だった年少組が、周りを見て刺激を受けたり、やってみたいと試す姿に感激です。

ぼくにも書いて！



負けないぞ！と、ゴール目指して真剣な年中組。



年中組になると、かけっこには順位が付きます。1位～3位に入ると、手の甲に数字を書いてもらえるのです。子どもたちはそれを書いてもらうことが嬉しくて、ちょっとしたステイタスのようです。一方で書いてもらえない子は、「ぼくにも書いて！」と先生に訴えたりします。「次、また頑張ってみよう！」と先生。すると次第に、数字を書いてもらうために、「お家で練習する！」という子が出て来ます。

幼稚園時代は“ぼくは走るのが苦手”なんて言って諦めたりせず、応援を素直に受け止め頑張ることができるのです。でも大きくなるにつれ、努力もせず諦めることも多くなって行きますから、今のうちに、ひたむきな頑張りをたくさん応援していきたいですね。

こ～んな子みっけ！



わたし
すずらんぐみ！

ココに並んだら、わたしもパレードの仲間に入れてもらえるかしら！？



靴が脱げたって気にしない！！

Illustration by nishin

おやこパレード



区民まつりでお披露目した花園キッズパレード。今年はびっくりハプニングがあり、とても大変なお祭りになりました。

年中さんの入場曲が始まったかと思うと「ビリビリビリ～」とノイズが入ってしまいます。何度か試してみましたが、同じ個所で入ってしまうのです。予めチェック済みなのに～、と言ってもあとの祭り！あわてて予備のCDを幼稚園に取りに戻ることにしました。

そんなピンチを救ってくれたのは年長組。本来なら、みんなの気持ちを高めてから向かうところですが、年長組は「イエーイ！」とあって早く出演できることが嬉しい様子も見せながら、いきなりのスタート。



楽しいことはもちろん、難しいことだって、みんなで一緒に取り組んできた年長組。

頼りになる年長さんと思ったら、またもやハプニング。今度は発電機が止まったの停電！メロディのキーボードが聞こえないのです。それでも子どもたちは演奏し続けます。すると自然発生的に手拍子が鳴りはじめ、ついで曲のアカペラが聞こえてきました。声の主はお家の方々でした。そのお陰で発電機が復活した後も、音がぴったりと合ったまま最後まで演奏することができました。

今までの活動の中で、しっかりと自信を培って来たこと、そして、お家の方のバックアップのお陰でピンチは感動を呼び、思いも寄らずステキなおやこパレードになりました。